

特別区消防団運営委員会への諮問事項について

諮問事項

変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか

諮問の趣旨

特別区消防団は、地域になくてはならない代替性のない存在であり、地域防災力の中核として、住民の負託に応じてきたところです。

さらに、昨年(令和5年)は、関東大震災から100年の節目の年であるなど、消防団への期待はさらに高まっており、東京の安全安心を守っていくためには地域防災力の中核を担う消防団が、将来にわたって更に充実し、消防団としての役割を果たしていく必要があります。

一方で、特別区においては、人口が2035年ごろに減少に転じ、2050年をピークに高齢化が進行すると予測されているほか、近年は、DXの進展によるテレワークなどの働き方の多様化や、単身世帯の増加による地域コミュニティの希薄化など、社会情勢は常に変化しているところです。

このことから、各消防団や各区の特性なども踏まえながら、変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ、住民の負託に応え続ける方策について諮問するものです。

課 題	検 討 事 項	検 討 の 方 向 性
1 地域防災の要である消防団として、変化及び成長していくことが重要である。	1 入団し活動を継続したいと思える組織の活性化方策について、区の地域特性や消防団の現況(構成等)を踏まえ検討する	管内特性を考慮した効果的な消防団活動を見出し、地域貢献することによってやりがいを持たせ、組織の活性化に繋げるための方策
	2 最新の技術等を考慮した活動環境の改善方策について検討する。	消防団事務の効率化をするためのタブレット活用方策
2 活動力を地域で発揮していくことで、地域住民の負託に応え続けることが重要である。	1 消防力維持のため、計画的な人材育成方策について検討する。	消防団の中で包括的な訓練を担うことにより、計画的、持続可能な人材育成方策を実施するための方策
	2 地域に尽力している消防団を地域住民により知ってもらう方策について検討する。	情報端末を活用したソーシャルネットワークサービスによる広報活動方策

審議期間

諮問日から令和7年3月末日まで(審議回数:令和5年度1回、令和6年度2回 計3回)

I 地域防災の要である消防団として、変化及び成長していくことが重要である。

検討事項1

入団し活動を継続したいと思える組織の活性化方策について、区の地域特性や消防団の現況(構成等)を踏まえ検討する。

方向性

管内特性の変化に合わせた町会・自治会等との連携強化による効果的な消防団活動体制の構築について

検討事項2

最新の技術等を考慮した活動環境の改善方策について検討する。

方向性

- 1 団員間の情報伝達手段の確保について
- 2 消防団事務の効率化を図るためのタブレット活用について

II 活動力を地域で発揮していくことで、地域住民の負託に応え続けることが重要である。

検討事項1

消防力維持のため、計画的な人材育成方策について検討する。

方向性

- 1 経験が浅い団員に対する教育訓練体制について
- 2 経験豊富な団員による訓練指導体制について

検討事項2

地域に尽力している消防団を地域住民により知ってもらう方策について検討する。

方向性

管内企業や官公庁、消防団協力事業所等と連携した消防団活動の情報発信について